

コード	10101
作成年度	22年度

## 基本事業評価表

基本事業名称	魅力ある観光地の創造と推進体制の確立
--------	--------------------

総合計画の位置付け	
政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進
施策名称	魅せる観光のしまづくり

課コード	117	関係課名
主管課名	観光物産課	

### 基本事業の目的

観光協会のアクションプランを尊重しながら観光振興を図り、自然豊かな本町の特性を活かした自然体験型交流促進事業を展開することによって、交流人口の増大を図る。また産業間の連携を促進すると共に関係団体と協力して観光振興に向けた体制づくりを図り、既存施設の有効活用にも取り組むことにより町観光産業の振興を図ることを目的とする。

### 基本事業の成果

成果指標名称 1	観光客延べ数	成果指標名称 2	観光消費額
成果指標の積算根拠	長崎県観光統計	成果指標の積算根拠	長崎県観光統計
目標達成年度	平成22年度	目標達成年度	平成22年度
目標達成数値	260,000人	目標達成数値	4,800,000千円

年 度		H18	H19	H20	H21	H22	
成果指標1	目標 A	人	220,000.0	230,000.0	240,000.0	250,000.0	260,000.0
	実績 B	人	204,888.0	203,885.0	191,044.0	196,103.0	
	達成率 B/A	%	93.1	88.6	79.6	78.4	
成果指標2	目標 A	千円	4,400,000.0	4,500,000.0	4,600,000.0	4,700,000.0	4,800,000.0
	実績 B	千円	3,457,000.0	3,439,000.0	3,262,000.0	3,261,000.0	
	達成率 B/A	%	78.6	76.4	70.9	69.3	

1次評価	現状	魅力ある観光地の創造を図るべく、さまざまなイベントや受け入れ体制準備、情報発信事業など観光物産協会と協働して取り組んでいる。また上五島ふるさとガイドの会の立ち上げによる人材育成及び雇用創出の場を図っている。
	課題	ツアー客や個人観光客については右肩あがりにあるものの、ここ数年はビジネス客の減少が激しく、観光統計上の数字は減少にある中で、素通り観光の要素が強く、本町へ宿泊し、観光消費額を伸ばすための観光メニューの充実などへの取り組みが急務となっている。
	改善	宿泊を必要とする体験メニューやツアーメニュー等、観光資源の発掘を強化し有効活用を推進するとともに、エージェントへの働きかけを強化する。また、地元受け入れ体制の充実を図るため関係団体との連携に努めていく。

2次評価	社会的に不況下の影響とも考えられるが各種事業の展開を図るものの観光客数に経年的に停滞が見られる。それにより観光消費額も減少をしている。今後も誘致のための方策を関係機関と共に再検討をしながら上五島観光の魅力をもっと向上させるとともに、観光振興に向けた体制を確立していくこと。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。